

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課				
		実施期間	S54 ～	E-mail	iryoy@pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・救急医療体制の充実に不可欠である救命救急センターの運営状況は、慢性的な赤字状態にある
- ・全県をカバーする広域救急搬送体制を確保するため、ドクターヘリの運航は効果的である
- ・適切な救急・災害医療を提供するためには、医療施設・設備の整備を行う必要がある
- ・平成15年以降の救急救命士による処置範囲の拡大に伴い、その技術や知識の向上が必要である
- ・長野県DMAT隊員の登録者は400名を超えたが、その技能を維持する研修や訓練を企画する必要がある

2 事業目的

- ・患者の状態に応じた適切な救急医療が提供される体制を構築する
- ・災害時においても必要な医療が確保される体制を構築する

3 事業目的を達成するための取組

①救急医療体制の整備

- ・重篤救急患者の医療を確保するため、救命救急センターの運営費を支援
- ・全県をカバーする広域救急搬送体制を確保するため、ドクターヘリ2機の運航を支援
- ・災害拠点病院や病院群輪番制病院が行う施設・設備の整備を支援

②災害医療体制の整備

- ・県の災害、救急医療体制を協議するため、専門家による連絡会を開催
- ・災害医療関係者の資質向上のための研修の実施
- ・DMATの体制整備のため、協議・検討、隊員の養成、訓練の実施・参加支援を行う
- ・災害発生直後や新興感染症まん延時における被災地等の医療機能の低下に対応するため、「災害・感染症医療業務従事者」を被災地等に派遣する医療機関の派遣用資器材・装備等の整備を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度			R5年度			R6年度			R6年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	実績	推移	実績	実績	推移			
①	転棟・転院調整を行う者を常時配置している救命救急センター数	施設	4	4	→	5	5	↗	4	4	↗	4	達成	救命救急センターとして重症患者等の受入体制を確保していくことが重要であるため、急性期を脱した患者が適切な場所で継続して医療を受けるための転棟・転院を行う体制が充実するよう設定
②-1	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	人	368	403	↗	436	436	↗	440	440	↗	440	未達成	メディカルコントロール体制の強化のため、年間で受講できる最大人数が受講するよう設定
②-2	長野県DMAT養成研修修了者数	人	434	476	↗	517	517	↗	518	518	↗	518	未達成	県の災害対応力を維持していくため、R5年度と同人数が研修を受講するよう設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-5①	健康づくりの推進	☆健康寿命(日常生活が自立している期間の平均)(男性)	位	2021 (R3)	1	2022 (R4)	1	2022 (R4)	1	2026 (R8)	1
1-5①	健康づくりの推進	☆健康寿命(日常生活が自立している期間の平均)(女性)	位	2021 (R3)	1	2022 (R4)	1	2022 (R4)	1	2026 (R8)	1
1-5①	健康づくりの推進	平均寿命(男性)	位	2020 (R2)	2	2021 (R3)	-	2022 (R4)	-	2025 (R7)	1
1-5①	健康づくりの推進	平均寿命(女性)	位	2020 (R2)	4	2021 (R3)	-	2022 (R4)	-	2025 (R7)	1
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築	救命救急センターの充実度評価Aの割合	%	2022 (R4)	100	2023 (R5)	100	2024 (R6)	100	2027 (R9)	100

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
				うち一般財源			
R6年度	0	1,178,810	△ 159,218	1,019,592	494,615	969,294	2.2
R5年度	26,831	1,094,698	△ 173,876	947,653	464,778	928,617	2.2
R4年度	0	1,127,863	△ 205,875	921,988	519,568	785,329	2.2

事業番号	05 02 02	事業改善シート（令和6年度実施事業分）			☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	救命救急医療対策事業			部局	健康福祉部	課・室	医療政策課	

7 主な取組実績と成果

①救急医療体制の整備

- ・病院群輪番制病院、災害拠点病院等の機能を強化するため、6施設の施設・設備の整備に対し、総額39,777千円の支援を行った。
- ・救急医療を確保するため、救命救急センターに対する運営費（4施設 221,934千円）や施設・設備整備等（3施設 16,385千円）に対する支援を行った。
- ・広域救急搬送体制を確保するため、信州ドクターヘリ運航費に対する支援（2施設 656,646千円）を行った。
- ・長野県メディカルコントロール協議会を3回開催し、構成員から救急医療に関する意見をいただくとともに、メディカルコントロールに関して消防士を対象とした研修を実施し、救急救命処置の質の向上を図った。（気管挿管再教育講習1回、ビデオ喉頭鏡追加講習1回）
- ・急な病気やけが等で、救急車を呼ぶか病院に行くか迷った際の電話相談窓口「長野県救急安心センター（#7119）」を令和5年10月から運営し、救急医療機関や消防機関の負担の軽減を図った。（R6年度相談実績13,912件）

②災害医療体制の整備

- ・災害拠点病院連絡会議を1回、DMAT連絡会議を2回開催し、今後の災害医療体制の整備について検討を行った。
- ・DMATと協働し長野県総合防災訓練に参加し、実際の災害時における医療提供体制の確認等を行った。
- ・地域災害医療コーディネーターや地域災害医療本部構成員を対象とした災害医療コーディネート研修には31名の方に参加いただき、地域実情を踏まえた災害医療について研修を行った。参加者からは、多くの機関が集合した当該研修は大きな意義があったと好評をいただいた。
- ・DMATの機能強化のため、3施設の派遣用資器材・装備等の整備に対し、総額452千円の支援を行った。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	転棟・転院調整を行う者を常時配置している救命救急センター数	R5年度推移	→	R6年度推移	↗	達成状況	達成
充実度評価項目には医師等の配置状況、搬送受入要請への応需率の把握と改善への取組み、手術室や検査室の体制等があり、運営費への支援や施設・設備の整備に対する補助を行うことにより引き続き目標を達成した。							
指標②-1	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
気管挿管技能の周知・普及拡大により着実に認定者数の増加につながっていることから、さらなる増を目指して引き続き1回の再教育講習と周知を図った。受講者を募ったところ、受講対象者として消防本部から挙げられた人数が定員を下回ったため、受講人数は目標値を下回った。							
指標②-2	長野県DMAT養成研修修了者数	R5年度推移	↗	R6年度推移	↗	達成状況	未達成
県内のDMAT指定病院に広く受講者を募集し、定員に達する申込があったが、急遽欠席が発生したため目標未達成となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・救急搬送人員数が右肩上がりに増加する中で、救命救急センターとして重症患者等の受入体制を確保していくことが重要であり、個々の救命救急センターの機能の強化や質の向上が課題である。
- ・気管挿管技能等の救急救命士が行う特定行為は実施の機会が限られることから、質の維持・向上が課題である。県内統一の救急隊員の標準的な活動内容を定めたプロトコルを策定するに当たり、適切な観察等に関する教育体制の構築が課題である。
- ・DMAT養成研修について受講希望者が多く、全ての希望者が受講出来ない状況になっている。
- ・令和6年能登半島地震における対応では、DMAT活動の長期化や被災地からの患者搬送の方法等、様々な課題が見つかった。
- ・新たに、県保健医療福祉調整本部設置要綱が制定され、災害時における保健、医療、福祉の連携体制の構築が求められている。

(2) 事業改善の方策

- ・個々の救命救急センターの機能を確認して有識者の意見を聴き、質の向上を促す救急医療機能評価会議を今後も継続的に実施していく。
- ・適切に特定行為を実施できるように、研修会・講習会の充実を図るほか、脳卒中及び急性冠症候群に関する県内統一のプロトコルの策定・普及啓発・策定後の見直しなどを実施・検討することにより、メディカルコントロール体制の強化を図り、救急医療提供体制の確保を図っていく。
- ・DMAT養成研修については県内DMAT指定病院からの受講希望者が多くいるため、継続的に実施すると共に、研修内容の充実に努めていきたい。
- ・その他の訓練や研修については、参加者から好評をいただいているが、令和6年能登半島地震を踏まえた訓練や研修内容の充実や、災害時において保健、医療、福祉がより円滑な連携ができるよう、災害医療提供体制の確保を図っていくこととしたい。

事業番号	05 02 02	細事業一覧（令和6年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	救命救急医療対策事業			部局	健康福祉部	課・室	医療政策課	

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
1	救急緊急医療費損失補てん事業		2,363 千円	2,363 千円	2,363 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救急緊急医療費損失補てん事業補助金	補助金	医療機関が救急医療を提供した結果、未収となった医療費に対して補助 14事業者に、2,363千円を補助		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
2	広域災害・救急医療情報システム運営事業		43,070 千円	40,683 千円	29,590 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	広域災害・救急医療情報システム運営事業	直接委託	システムの賃借及び運営の委託 システムの賃借料25,368千円、運営委託料1,119千円		
2	広域災害・救急医療情報システムデータ移行に伴うシステム再構成事業	委託	医療機能情報提供制度に係る機能が全国統一システムへ移行することに伴い、県民及び医療機関等の利便性向上のため、システムの機能を再構成 機能の再構成を実施 3,104千円		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
3	長野県救急医療機能評価会議運営事業		0 千円	0 千円	174 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県救急医療機能評価会議の開催	直接	救急医療機能評価会議の開催 1回開催		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
4	救命救急センター運営費補助金		158,731 千円	224,850 千円	221,934 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救命救急センター運営費補助金	補助金	救命救急センターの運営費（給与費、材料費等）を支援 4施設、221,934千円を補助		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
5	ドクターヘリ運航事業		537,806 千円	596,016 千円	656,655 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	ドクターヘリの運航	補助金	ドクターヘリの運航に要する経費を支援 2施設、656,646千円を補助		
2	電波利用料負担金	負担金	ドクターヘリの運航に係る無線局の電波利用料を負担 2機分		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
6	救急医療対策費施設・設備整備事業		34,658 千円	47,173 千円	39,777 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救急医療対策費施設・設備整備事業補助金	補助金	病院群輪番制病院や地域災害拠点病院等の施設・設備の整備を支援 5施設、39,325千円を補助		
2	災害・感染症医療業務従事者の派遣用資器材・装備等の整備	補助金	災害・感染症医療業務従事者の派遣に関する協定を締結している医療機関に対し、被災地等への派遣用資器材・装備等の整備費用を支援 3病院、452千円を補助		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
7	長野県メディカルコントロール協議会		429 千円	460 千円	753 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県メディカルコントロール協議会及び部会の開催	直接	長野県メディカルコントロール協議会及び部会を開催 協議会3回、部会2回開催		
2	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の実施	直接	気管挿管技能認定救急救命士に対する再教育講習を実施 1回開催		
3	ビデオ喉頭鏡追加講習の実施	直接	ビデオ喉頭鏡追加講習を実施 1回開催		
4	長野県メディカルコントロール講習会の実施	直接	長野県メディカルコントロール講習会を開催 0回開催		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
8	災害医療体制整備事業		8,272 千円	7,910 千円	7,105 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	災害・救急医療提供体制検討会議等の開催	直接	災害・救急医療体制について協議や課題の検討を行う会議等を開催 開催数 災害拠点病院連絡会議1回、DMAT連絡会議2回、災害医療コーディネート研修1回		
2	災害医療研修会等の実施	直接 委託	災害医療関係者の資質向上のための研修を実施 実施数 1回		
3	長野県DMAT養成研修等の実施	直接 委託 補助金	災害時に長野県DMATとして活動する者を養成するとともに、長野県DMATの資質向上のための研修を実施 養成数 41名 実施数 長野県DMAT養成研修1回		
4	総合防災訓練等参加支援事業	補助金	政府主催総合防災訓練へ参加するものに対して参加経費を補助 8病院		
5	DMAT等活動保険料	直接	災害発生時に派遣するDMAT隊員等を対象とした傷害保険に加入 保険料総計 19,312円		
6	航空搬送拠点臨時医療施設（SCU）運用体制の整備	直接	SCU設置運営訓練等の実施 SCU用医療機器の点検・更新 更新物品 輸液ポンプ2台、シリンジポンプ4台		
7	災害時情報通信体制等の整備	直接	災害時情報伝達研修の実施 衛星携帯電話等による災害時通信体制の構築 衛星携帯電話整備数：12台 研修実施回数：1回		

細事業 No.	細事業名		R4年度 決算額	R5年度 決算額	R6年度 決算額
9	救急安心センター（#7119）事業		- 千円	9,162 千円	10,943 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和6年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	救急安心センター（#7119）の設置	委託	医療機関が外来診療を行っていない時間帯（夜間・早朝及び休日）に住民からの電話相談に応じる窓口を設置 電話相談窓口設置日数365日		
2	救急安心センター（#7119）の広報	委託	救急安心センター（#7119）の普及・啓発を実施 周知用チラシ15,000枚、周知用ポスターを360部配布		